

従来、労働組合の組織運動は、極めて自然發生的で、計画的でなかつた。この點に就て我總同盟中央委員会は、一ヶ月十萬人突破運動を計画的、組織的に展開することに決し、第二十回大會に議案として提出されて居る。既に中央委員会の決議以來、各加盟組合では、夫々準備を整へつゝあり、或は運動開始をなしつゝあると言ふ状態であるが、此大會を期して一齊に猛運動を展開し、工場鎮山に向つて突撃せられんことを望む。

左記組合は關西労働同盟會地方部所屬につき追加す。

組 合 名	創 立	所 在 地	支 部 數	組 員 數		備 考
				男	女	
新 宮 共 愛 會	昭和四年	和歌山縣新宮町熊	一六	三〇〇	二〇	一、組合長 三、主計 二、主計
	八 月	野地玉江町		三〇〇	二〇	三、主計 二、主計 一、主計

政治部報告

一般方針

社會民衆黨を支持することに變りは無けれども、今日の一般的實狀よりして、労働組合はその本来の職分に忠實ならんが爲、政治運動を、労働運動の埒内に止めると言ふことは、前年度大會に於て承認された態度方針である。大會議事録(質問の頂参照)

この方針は一貫して今日尙變らざるものであり、少くとも近き將來に於ても變へる必要とせざるものであらう。

本年度に於て、無産政黨内に起きた重要問題は、黨の合同、及府縣議選であつた。

黨の合同問題は、労働黨と全國大衆黨との合同成立して全國労働大衆黨となつた。

社會民衆黨は、労働黨を除き全國大衆黨との合同を前提とする共同競争方針を採用したのであつたが、前記二黨の合同

成立して、事實上この社民黨の方針は不可能となつたのみでなく、加ふるに、黨内の小市民層の一部が、「社民黨三黨合同實現同盟」なるものを組織して奮闘し、兩黨の關係は益々疎隔するに至つた。

我總同盟は、社會民衆黨立黨の精神を歪めざる限り、一切黨の問題は黨の決定に一任する方針を以て今日に至つて居る

府縣議選舉成績

社會民衆黨は、全國に七十一名の候補者を選定して選舉に臨んだが、當選者三名、次點者十三名と言ふ慘敗を喫した。全投票數は八萬二千七百五十五票であつた。

我總同盟組合員にして立候補したる者及びその成績左の如し。

- 大阪府此花區 塚本重藏 次點 二、九三一票
- 大阪府北區 村尾重雄 次點 一、五五七票
- 福岡縣八幡市 伊藤卯四郎 當選 五、二〇二票

加盟組合員議員一覽表 (昭和六年九月)

- | | |
|--|--|
| <p>○衆議院議員</p> <p>大 阪 西 尾 末 廣 中央委員政治部長</p> <p>神 奈 川 片 山 哲 本部法律部長</p> <p>○府縣會議員</p> <p>福 岡 縣 伊 藤 卯 四 郎 九州聯合會</p> <p>○市 會 議 員</p> <p>福岡縣小倉市 近藤乾太郎 製網労働組合</p> <p>廣島縣福山市 岩部石男 中國紡織労働組合</p> <p>神奈川縣川崎市 大矢幸男 セメント労働組合</p> | <p>神奈川縣川崎市 山良太一郎 神奈川鐵工組合</p> <p>同 本多松郎 同</p> <p>兵庫縣西宮市 白津菊松 兵庫縣聯合會</p> <p>福岡縣門司市 白木清治 セメント労働組合</p> <p>○町 會 議 員</p> <p>東京府下千住町 茂澤清 東京革工組合</p> <p>大島町 熊本虎藏 東京鐵工組合</p> <p>岩淵町 同 同</p> <p>大崎町 成山正郎 同</p> |
|--|--|